

各 位

東京都中央区日本橋 1 丁目 4 番 1 号
日本橋一丁目ビルディング 15 階
株式会社シンプレクス・テクノロジー
代表取締役社長 金子 英樹
(コード番号: 4340 東証一部)
T E L 03 - 3278 - 6750 (代表)

「SPRINT」大証 FX(仮称)対応版をインヴァスト証券が採用
2009 年春頃からサービス展開予定

株式会社シンプレクス・テクノロジー(本社:東京都中央区 代表取締役社長:金子英樹 以下:シンプレクス)が UMS 事業(*1)の一環として金融機関に SaaS(*2)型で提供している「SPRINT」(*3)大証 FX(仮称)(*4)対応版が、インヴァスト証券株式会社(本社:東京都港区 代表取締役:石井秀明 以下:インヴァスト証券)に採用されました。

このたびシンプレクスは、インヴァスト証券が 2009 年春頃創設される大証 FX(仮称)へ参入するにあたり、同社の顧客向け外国為替証拠金取引機能としてリッチクライアント(*5)に対応した「SPRINT Pro」、並びにウェブブラウザに対応した「SPRINT Basic」を提供する予定です。

さらに当該案件でシンプレクスは、インヴァスト証券に向けて社内管理機能も提供する予定です。

リッチクライアントに対応した「SPRINT Pro」は、時価情報をリアルタイムに照会するレート配信や板気配表示などの「情報機能」に加え、板発注やチャート発注など多彩な執行条件に対応した「発注機能」、仮想建玉や仮想レートによる「損益シミュレーション機能」を搭載予定です。

シンプレクスはこれまでも多くの外国為替証拠金取引業者に向けて取引システムを納入してまいりました(*6)。当該案件ではこうしたシンプレクスの豊富な実績をはじめとして、最先端の技術力や機動性の高いサポート体制がインヴァスト証券に評価されました。なお、「SPRINT」大証 FX(仮称)対応版の採用社数は、インヴァスト証券で 2 社目となります。

シンプレクスは大証 FX(仮称)へ参入する外国為替証拠金取引業者に向けて、引き続き当該システムの営業を強化してまいります。なお、当該契約によるシンプレクスの当期業績予想の変更はありません。

株式会社シンプレクス・テクノロジー (東証一部:4340 <http://www.simplex-tech.co.jp/>)

■ サービス導入に関するお問い合わせ先
営業担当: 藤野、溝渕
eMail: info@simplex-tech.co.jp Tel: 03-3278-6756

■ 報道関係の方からのお問い合わせ先
広報/IR 担当: 平田
eMail: ir@simplex-tech.co.jp Tel: 03-3278-6750

■用語解説

(*1) UMS(ユーエムエス)事業

UMS 事業とは、「Universal Market Service(ユニバーサル・マーケット・サービス)事業」の略称です。シンプレクスが自社で企画・投資(開発・保守・運用)を行い、そのシステムを SaaS 型サービスとして金融機関に提供する事業であり、シンプレクスの第二次中期事業計画(2008 年 3 月期～2012 年 3 月期)における主要事業の 1 つです。

サービス利用にともなう顧客の収益に連動した「成功報酬型」の課金体系を採用している点が UMS 事業の特長です。

(*2) SaaS(サーズ)

SaaS とは、「Software as a Service(ソフトウェア・アズ・ア・サービス)」の略称です。システムを顧客に納入するのではなく、開発ベンダーが自社でシステムを開発・運用し、そのシステムが実現する機能をネットワークを通じて顧客に提供する仕組み・サービスのことを指します。

顧客はシステム開発負担を抑え、最新機能を備えたサービスを短期間で開始することができます。また、サービス導入後も開発ベンダーがシステム運用管理主体となり安定稼働を支援するため、顧客はシステム保守負担を軽減することができます。

(*3) SPRINT(スプリント)

「SPRINT」とは、シンプレクスが UMS 事業の一環として SaaS 型で提供している個人投資家向けインターネット取引システムの総称です。「SPRINT」は外国為替証拠金取引のほか、株式(現物・信用)、先物・オプション、債券など豊富な金融商品に対応しています。また、チャンネルにおいてもウェブブラウザ版からリッチクライアント版まで充実したサービスラインアップを誇ります。

(*4) 大証 FX(仮称)

「大証 FX」(仮称)とは、大阪証券取引所が 2009 年春頃に創設を予定している取引所外国為替証拠金取引です。

取引所外国為替証拠金取引とは、相対取引(OTC)の様に外国為替証拠金取引業者と直接取引するのではなく、取引所にて行う為替取引です。「大証 FX」(仮称)では、「板」を用いたオークション方式によりインターバンク市場の直物(スポット)取引価格を対象とした外国為替証拠金取引が行われる予定です。また、価格形成の円滑化を図るため、常時売り買い気配を「板」に提示する義務を負うマーケットメーカー制度が導入される予定です。

(*5) リッチクライアント

リッチクライアントとは、専用のソフトウェアをダウンロードすることで、標準的なウェブアプリケーションよりも高い機能性を実現するアプリケーションの総称です。

(*6) シンプレクスの外国為替証拠金取引システム導入実績

シンプレクスは金融機関のディーリング・リスク管理に代表されるフロント業務(収益業務)分野におけるシステム開発のリーディングカンパニーです。

シンプレクスは 2002 年から外国為替証拠金取引システムを金融機関に向けて提供しており、インヴァスト証券をはじめとして、コスモ証券、スター為替、ソニー銀行、大和証券、ひまわり証券、マネックス FX、マネーパートナーズ、三菱商事フューチャーズ証券、ユニマツ証券など数多くの導入実績があります。